

# 泉中校区 小中一貫教育だより

平成 29 年 11 月 泉中学校・泉小学校・中村町小学校 発行

## 第 2 回 相互授業参観を行いました

10月16日（月曜日）、泉小・泉中の職員が中村町小学校に集まり、授業の様子を参観しました。その後、教科ごとで分科会を行い、児童が学び合い、学びを深めていけるような授業づくりについて協議を行いました。分科会協議では、児童の学びをより深めるための手立てや、小学校・中学校の学びのつながりについてなど、たくさんの意見が出され、活発な協議会となっていました。

### 各分科会で協議したことを紹介します

#### 国語部会

- 子どもたちはしっかりと話を聞いていた。反応もよく、グループ活動も自然にできていた。
- 何のためにペア・グループ活動をしているのか、その意図が伝わってきた。
- ペア・グループ活動は、子どもたちが自信をもったり活動量を増やしたりするためにはいいが、深めることにつなげるのが難しい。ペア・グループでの交流を、全体交流でどう生かすかが大切である。今日の授業を見て、低学年でもグループで深めることができるのだと感じた。
- 学習規律がしっかりとしていた。低学年のうちから、最後まで話す、つなげて話すことを意識させることで、力がついてくると感じた。



2年 国語 お手紙



4年 国語 ごんぎつね

#### 算数部会

- 子どもたちはグループで、一生懸命に話し合っていた。グループで話をすると考えを統一させたいくなるが、無理矢理 1 つにしないで様々な考えを出させることで、違いに気づかせることが出来ていた。
- 普段から友だちの考えを知りたくなるように、教師が声をかけるようにしている。そうすることで、子どもたちが知りたいという思いをもち、グループ活動にも必要感が生まれてくる。
- グループ活動での学び合いも大切だが、習熟も大切である。算数が苦手な児童が問題を解けるか確認することも大切である。ペア・グループ活動を重視しすぎると、習熟が十分に行えない。教えるべきところは教えて、その後の適用問題を解く時間を十分にとることがあってもよいのではないか。



3年 算数 かけ算の筆算



4年 算数 およその数

#### 理科・社会部会

- 6年生の子どもたちが温かい雰囲気ではじめに話し合っていた。子どもたちは、自然に関わり合いながら課題について考えていた。
- 先生が、児童が既習を生かせるような問いかけをしていた。学習履歴の掲示などもよく活用されていた。
- 理科の実験では、グループで結果を話し合ったり、図をかかせたりして、グループで共有できるようにすることが大切だと感じた。



6年 理科 大地のつくり

- ・ 実験などは正確な結果を求めがちになるが、うまくいかなくても、どうしてもそのような結果になったのか、その原因を考えさせるとよい。グループ同士で結果を見合うなど、比べてみることで気づくこともある。

### 体育部会

- ・ ボールを持っている時の動き方に焦点を当てた授業だったが、持っている時の動きはある程度限られている。ボールを持っていない時の動きに焦点を当てれば、動き方が分からない子どもたちにとって、動き方のヒントになったのではないか。
- ・ サッカーの準備運動として、ゲームにつながる運動を3種類用意していて、運動量もあり、子どもたちも、男女関係なく仲良く一生懸命に動いてよかった。
- ・ 2年生の大縄跳びやシャトルボールでは、子どもたちは一生懸命に取り組んでいた。走の運動遊びでは、コーンの位置を相談して変えたところで時間がきてしまった。さらに、走ることに工夫する時間があるとよかった。
- ・ 体育科における言語活動に関して、話し合いの場をもたせることと運動量を確保することを両立させることが難しい。中学校では、動きながらできるようにさせることを目指している。そのためには、話し合いの視点を生徒にもたせ、効果的に話し合えるようにしている。

### 英語・道徳部会

- ・ 道徳では、よい雰囲気の中で授業が行われていて、子どもが気持ちを素直に言っていた。
- ・ 書く活動があると、より考えをまとめることができたと思う。どこに重点を置いて話をさせるかをしっかりもつことが大切だと感じた。
- ・ 英語では、子どもたちは元気で明るく、グループで教え合う姿も見られた。これが楽しく学習する雰囲気につながっている。子どもたちが、中学校まで英語を好きでいてくれるとうれしい。
- ・ 子ども中心に授業を進める姿が自然だった。英語で話す習慣も定着していてよかった。

### 特別支援教育部会

- ・ 学年が違う子どもと一緒に学習することもあり、個別学習が中心となるが、教師がペアの相手となることによってペア・グループ活動を行い、児童の考えを深めたりコミュニケーション能力を伸ばしたりする工夫をしている。
- ・ 学年が違っていても、仲良く一緒に学習している。教え合いなどの関わりも見られ、異学年で学習するよさも感じている。

※特別支援分科会では、各校の子どもの様子や進学に関することなどの情報交換を行い、小中の連携について協議していました。

今回の授業参観、協議会で学んだことを生かして、今後も小中で連携しながら、子どもたちの学びを深める授業づくりについて考えていきたいと思えます。



6年 社会 世界に歩み出した日本



2年 体育 走の運動遊び



5年 体育 サッカー



3年 英語 What time?



5年 道徳 思いやり・親切



すこやか1 国語 ことばあそび